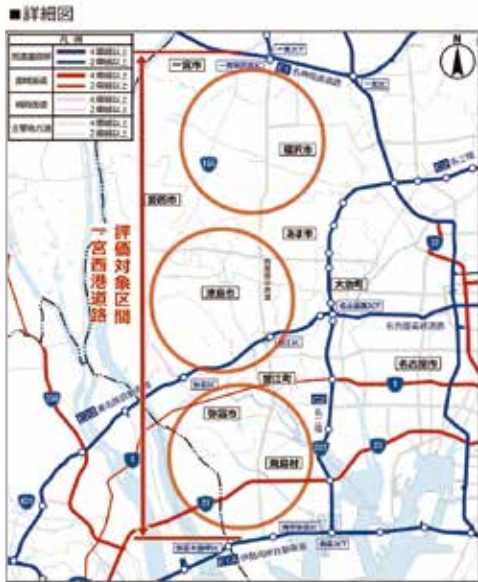


市の道路行政の 進め方は

角田 龍仁議員

都計道路や幹線道路を計画的に実施する
産業建設部長



▲一宮西港道路評価対象区間図

問 市になってから、計画した道路は。

答 主なものとしては、弥富インターチェンジ周辺の市道29号線や市道166号線の拡幅を実施した。

問 都市計画道路には、市決定と県決定があるが事業主体がそれによって決まるのか。

答 県決定の路線は愛知県、市決定の路線は愛西市が事業主体となり、整備を進めている。

問 都市計画道路の進捗状況は。

答 進捗状況としては33パーセントで、市になってから佐織津島線、勝幡停車場線の2カ所の整備を行った。

問 緊急輸送道路を補完する市道で整備している所は何カ所あるか。

答 市になってから修繕を含め50カ所実施した。

問 そのうち道路拡幅や歩道設置などの改良工事は何カ所実施したか。

答 道路改良工事は、道路拡幅13件、歩道設置3件実施した。

問 国が進めている一宮西港道路などの計画が進む中、市の道路行政の進め方や考え方は。

答 海部地域全体の広域的な骨格となる一宮西港道路や木曾川・長良川新架橋等、国や県による新たな道路整備を見据えつつ、市の都市計画道路や幹線道路の整備を計画的に実施していく。

介護予防に 新しい取り組みを

問 立田・八開地区では、高齢化率が高いにもかかわらず、介護認定率が低い。市の見解は。

答 2世代・3世代同居

で生活する方が会話する機会も増え、活力が得られていることや自営業者は毎日体を動かすことにより、健康維持に繋がっていると考える。

問 保険と介護の一体的事業の経過や分析は。

答 2カ所のサロンで25人の方に実施し、理学療法士、管理栄養士による運動や栄養の専門指導の実施、保健師が運動や食事の予防の取り組みをサポートしている。

問 フォークダンスや社交ダンスは認知症予防の効果もある。フレイル予防として取り入れる考えは。

答 ダンスを取り入れた教室や事業も選択肢の一つとして、検討していく。